

楠根重和教授 略歴・業績目録

著者	金沢大学人間社会研究域法学系
雑誌名	金沢法学 = Kanazawa Law Review
巻	53
号	2
ページ	6-21
発行年	2011-03-07
URL	http://hdl.handle.net/2297/27672

楠根重和教授 略歴・業績目録

略 歴

昭和二十一年（一九四六）三月二一日 香川県小豆島に生まれる

昭和三十三年（一九六四）三月 大阪市立住吉商業高校卒業

昭和四〇年（一九六五）四月 京都府立大学文家政学部入学

昭和四四年（一九六九）三月 京都府立大学文家政学部卒業

昭和四四年（一九六九）四月 大阪市立大学大学院文学研究科修士課程入学

昭和四七年（一九七二）三月 大阪市立大学大学院文学研究科修士課程中途退学

昭和四七年（一九七二）五月 ドイツ連邦共和国にてドイツ語学研修（一〇月まで）

昭和四八年（一九七三）四月 大阪外国語大学大学院外国語研究科修士課程入学

昭和四九年（一九七四）七月 ドイツ連邦共和国ボン大学留学（ドイツ学術交流会（DAAD）奨学生、昭和五一年九月まで）

昭和五二年（一九七七）三月 大阪外国語大学大学院修士課程修了

職 歴

昭和五二年（一九七七）四月 近畿大学教養部ドイツ語非常勤講師（昭和五三年九月まで）

昭和五三年（一九七八）七月 金沢大学教養部助教授（ドイツ語）に採用（平成四年五月まで）

昭和五六年（一九八一）七月 文部省・ドイツ文化センターによるドイツ連邦共和国にて語学

研修（三ヶ月間）

昭和五九年（一九八四）九月

大阪大学言語文化部言語工学科へコンピュータを使った教育プログラム開発のために文部省による内地留学（六ヶ月間）

昭和六〇年（一九八五）七月

ドイツ民主共和国の奨学金によりドレスデン大学ドイツ語教員の研修プログラムに参加（一ヶ月間）

昭和六三年（一九八八）一月

ドイツ文化センターの奨学金により、ドイツ連邦共和国ベルリン・ドイツ文化センターで語学研修（三ヶ月間）

昭和六三年（一九八八）一〇月

ドイツ連邦共和国コンスタンツ大学客員研究員（平成元年九月まで）

平成三年（一九九二）八月

ドイツ連邦共和国ミュンヘン大学の DaF (Deutsch als Fremdsprache) 研究所でドイツ学術交流会 (DAAD) の奨学生として研究を行う（二ヶ月間）

平成四年（一九九二）六月

金沢大学教養部教授（ドイツ語、八年三月まで）

平成五年（一九九三）年一〇月

ドイツ連邦共和国レーゲンスブルク大学客員講師、国際コミュニケーション論研究を行う（平成七年三月まで）

平成八年（一九九六）四月

教養部改組に伴い、金沢大学法学部に新設された公共システム学科教授に配置換え、公共政策専攻で国際コミュニケーション論担当。金沢大学大学院修士課程法学研究科法律学専攻で、公共政策特論一（国際コミュニケーション論）を担当（平成一一

年三月まで)

平成二十一年(一九九九)四月

金沢大学大学院修士課程法学研究科での授業科目が、公共政策特論一から、国際コミュニケーション論特論に変更

平成二十一年(一九九九)一〇月

金沢大学大学院修士課程法学研究科で、従来の法律学専攻と並んで、新しく公共システム専攻が、平成二十二年四月に発足するに伴う文部省の資格審査で、国際コミュニケーション論(社会学での審査)担当者として丸合判定

平成二十二年(二〇〇〇)二月

ドイツ連邦共和国フイールベルト財団の奨学金を受けて、レーゲンスブルク大学での講演と共同研究を行う(一ヶ月間)

平成二十二年(二〇〇〇)四月

金沢大学大学院修士課程法学研究科で国際コミュニケーション論特論と国際コミュニケーション論演習を担当

平成二十五年(二〇〇三)四月

マレーシア・サイエンス大学(USM)社会学部客員教授としてマレーシアのマス・メディアを研究する(平成二十五年九月まで)

平成二十六年(二〇〇四)四月

法学部が法学科・公共システム学科の二学科制を法政学科の一学科制に改組にともない、法政学科教授に配置換え

平成二十九年(二〇〇七)一月

アメリカ合衆国ニューヨーク州立大学バッファロー校客員研究員(二ヶ月間)

平成二十〇年(二〇〇八)四月

金沢大学人間社会学域法学系教授に配置換え、人間社会学域法

学類の担当、兼ねて人間社会学域国際学類の担当、金沢大学法
学部教授併任、現在に至る

学会及び社会における活動等

昭和四九年（一九七四）四月 日本独文学会会員（現在に至る）

平成二年（一九九〇）四月 日本ドイツ学会会員（現在に至る、平成一七年一月より幹事、
現在に至る）

平成八年（一九九六）一〇月 日本国際政治学会会員（現在に至る）

平成一〇年（一九九八）一月 日本マス・コミュニケーション学会会員（現在に至る）

平成一二年（二〇〇〇）四月 国連大学高等研究所協力機関である石川国際協力研究機構のフ
ェロー（平成一五年三月まで）

平成一三年（二〇〇一）四月 Asian Media Information Communication Center (AMIC) 会員
（現在に至る）

平成一五年（二〇〇三）七月 独日社会科学学会会員（現在に至る）

平成一六年（二〇〇四）七月 石川日独協会副会長（平成二二年七月まで）

平成一八年（二〇〇六）一〇月 ケルン専門大学の International Board of Adviser（現在に至る）

平成二〇年（二〇〇八）四月 石川EU協会副会長（現在に至る）

平成二二年（二〇一〇）七月 石川日独協会会長（現在に至る）

著書論文等一覽

主著・共著書

一九八〇年 「エトシュミット (Edschmid) の「ラツオ」(Der Lazo)」ドイツ文学研究叢書四『ド

イツ短編小説の展開』山戸・鎌田・平田編、クヴェレ会刊(分担執筆)(二〇九—二二四頁)

一九八七年 『ドイツ人の日本像、ドイツの新聞に現れた日本の姿』中埜芳之・楠根重和・アンケ・

ヴィーガンツ共著。三修社。(前書きの一一三頁)、(二章の三七—八二頁)、(四章の一三五—一五六頁)、(五章の一五八—一六九頁)、(後書きの二八八—二九二頁)

二〇〇〇年 「日本論・日本人論のイデオロギ―」佐々木吉男先生追悼論集刊行委員会編集(楠根

重和・新堂幸司・遠藤功・伊藤眞他多数執筆)『佐々木吉男先生追悼論集民事紛争の解決と手続』信山社。(三九五—四一二頁)

二〇〇一年 Japan in der Krise? - Fremdbilder und Selbstwahrnehmung : Clemens Kaufmann/ Yoshinori

Katori/ Josef Kreiner/ Ryosuke Ohashi/ Manfred Pohl/ Hikanu Tsujil Franz Waldenberger/ Shigekazu Kusune 共著 In : Clemens Kaufmann (Hrsg.) : *Risutora - Japans Weg in die*

globale Gesellschaft, Universitätsverlag Regensburg, (Schriftenreihe der Universität Regensburg; Band 27)(一一一—一二八頁)

二〇〇六年 Development of the Self and the Other in Japanese and German Society, In : Hede Helfrich,

Melanie Zillekens, Erich Höller : *Culture and Development in Japan and Germany*, Daeda-

Ius Verlag, Münster, Germany (三一—三三頁)

二〇〇七年

Sustainability in a Traditional Castle City : A Case Study of Kanazawa, Japan, II In : M. Nadarajah and Ann Tomoko Yamamoto (edit.) : *Urban Crisis, Culture and the Sustainability of Cities*, United Nation University Press, Tokyo, New York, Paris (六一頁—一七五—一八五頁)

二〇〇七年

『国際コミュニケーション論』信山社(一一—三五三頁)

二〇〇七年

Socio-Cultural Transformation in the 21st Century? Risks and Challenges of Social Changes, Kanazawa Electric Publishing Company, Kanazawa/ Japan : Kusune, Shigekazu/ Nishijima, Yoshinori/ Adachi, Hidehiko (ed.) printed by Noto Printing Company, distributed by Goto-Shoin, Tokyo (一一—三三九頁)

二〇〇八年

Is Clash of Civilizations a Real Problem or an Imaginary One? In : Helfrich, Hede/ Dakhin, Andrey V./ Hoelker, Erich/ Arzhenovsky, Igor (Eds.) : *Impact of Culture on Human Interaction : Clash or challenge?* Norgate & Nuber Publishers, Cambridge, MA, USA and Göttingen (三五七—三六八頁)

二〇〇八年

Столкновение цивилизаций: реальная или воображаемая проблема? In: Подреа. Андрея Дахина, Хедэ Хельфрих, Игоря Арженовского. Эрика Хельгера: *Влияние культуры на взаимоотношения людей: конфликт или танс?* Нижний Новгород Интасу (一一—三三九頁)

論 文

- 一九七三年
ハンブルク演劇論における悲劇論、大阪外国語大学ドイツ語科誌『文化と言語』八号
(四五―五四頁)
- 一九七四年
バール (Baal) 論、同人雑誌『視点』第三号 (二二―三〇頁)
- 一九七七年
Die frühe Lyrik Bertolt Brechts 大阪外国語大学修士論文 (一―四二頁)
- 一九七八年
シュブアルツ (Schwarz)・ゾーマン (Biemann)・ブレント (Brecht)・「龍」(Drache)
と「ドラードラ」(Der Dra-Dra)と「もしサメが人間であれば」(Wenn die Haiische
Menschen wären)に基づいて、金沢大学教養部論集一六卷 (一五六―一六六頁)
- 一九八一年
西ドイツの新聞・雑誌に書かれた日本像、雑誌『自治と教育』昭和五六年一〇月号(二
四―四五頁)
- 一九八二年
Georg Büchner: Die Jugendschriften und deren Einfluß auf die späteren Werke 金沢大学
教養部論集二〇卷 (一一九―一四二頁)
- 一九八三年
自然科学者としてのビューヒナー 金沢大学教養部論集二二卷 (二一一―二一九頁)
- 一九八五年
一九六八年以降の西ドイツにおける文学産業、管理された書籍 金沢大学教養部論集
人文科学編二三卷一号 (八三―九四頁)
- 一九九〇年
Ein vergleichende Analyse zum Sprachverhalten von Japanern und Deutschen anhand des
"Spiegel" und "Asahi-Journal" im Hinblick auf den Deutschunterricht in Japan 金沢大学
教養部論集人文科学編二八卷一号 (二九―四八頁)
- 一九九二年
Interkultureller Deutschunterricht - ein Versuch zum regionalen Lehrwerk, Veröffentlichun-

- gen des Japanisch-Deutschen Zentrums Berlin Reihe 1 Bd.12.(一八三—一九四頁)
- 一九九二年 異文化理解と外国語、金沢大学大学教育開放センター紀要第一二号(二五—三九頁)
- 一九九二年 Interkultureller Deutschunterricht 金沢大学教養部論集人文科学編二九卷二号(一一—一二九頁)
- 一九九三年 日本女性のイメージ — マダム・バタフライ現象 金沢大学教養部論集人文科学編三〇卷二号(一〇—一一八頁)
- 一九九四年 Sprachliches Verhalten in Japan und Deutschland - seine Bedeutung für den Deutschunterricht 『日耳曼語文学者大会大会文集』国際文化出版公司 北京(三二六—三三九頁)
- 一九九五年 Japonismus 金沢大学教養部論集人文科学編三三卷一号(八九—一〇五頁)
- 一九九七年 Leistungsmessung im Deutschunterricht In: *Dokumentation des 3.Didaktikseminars für japanische Germanisten* 日本独文学会・第三回ドイツ語教授法ゼミナール実行委員会・Goethe-Institut Tokyo (三五一—四七頁)
- 一九九七年 異文化コミュニケーション論 金沢法学第三九卷二号(一一九—一六二頁)
- 一九九八年 マス・メディアの対韓認識と国際コミュニケーション 金沢法学第四〇卷一号(一〇一—一五〇頁)
- 一九九八年 大学改革はドイツ語教育改革の「チャンス」である 金沢大学教養教育機構研究調査部報第二号(七一—九頁)
- 一九九八年 国際コミュニケーション論とは何か、その可能性と到達距離 金沢法学第四一卷一号(三九—一一二頁)

一九九九年 公共性を意識した大学の構造改革のために 金沢大学教養教育機構研究調査部報第三号(二二―二七頁)

一九九九年 ニュース報道の多面的な捉え方 大修館書店『言語』三月号。Vol.28 No.3 (七八―八五頁)

一九九九年 マス・メディアと国家フレーム、駐ユーゴ中国大使館「誤爆」をケース・スタディとして 金沢大学法学部四二巻一号(一三九―一三六頁)

二〇〇〇年 Commentary and Contemplation] International Conference Culture in Sustainability of Cities II : Creativity and Adaptation, ICRC and UNU/IAS 2000 (一一八―一九頁と一二五頁)

二〇〇一年 ライン博士その一(ライン博士の日本観と足跡) 金沢法学四三巻三号(一六五―一九八頁)

二〇〇一年 Kanazawa's Sustainability as a Traditional Castle City, The 3rd International Conference on Culture in Sustainability of Cities, Cheongju, Korea, 25-26. May, 2001 In : The Organizing Committee : *Culture in Sustainability* (一六五―一九八頁)

二〇〇二年 ライン博士その二 金沢法学四四巻二号(二二九―二八六頁)

二〇〇二年 行政とマス・メディアと市民の政治コミュニケーション ― 狂牛病をケース・スタディとして 立命館大学言語文化研究一四巻一号(一〇五―一一八頁)

二〇〇二年 ライン博士と日本、石川県白峰村ライン博士顕彰会刊『第20回ライン祭』(四―一五〇頁)

- 二〇〇二年 ドイツ報道評議会と日本型苦情委員会 金沢大学法学四五巻一号(一三一—一九一頁)
- 二〇〇二年 報道と責任 ドイツ・プレス(報道)評議会と日本の苦情処理委員会 ドイツ研究第三五巻(六九—九三頁)
- 二〇〇四年 権威主義国家マレーシアにおけるマス・メディア事情 金沢法学四六巻二号(九七一—一二二頁)
- 二〇〇四年 西ドイツに飲み込まれた東ドイツ人 金沢法学四七巻一号(七九—一〇四頁)
- 二〇〇五年 インターネット民主主義による市民社会の実現 金沢法学四八巻一号(一七一—一九八頁)
- 二〇〇七年 Understanding of Information in Socio-cultural Differences, Mechanism of Misunderstanding and Understanding. In: *Socio-Cultural Transformation in the 21st Century? Risks and Challenges of Social Changes*, Kanazawa Electric Publishing Company, Kanazawa/ Japan: Kusune, Shigekazu/ Nishijima, Yoshinori/ Adachi, Hidehiko (ed.) printed by Noto Printing Company, distributed by Goto-Shoin, Tokyo (六七—七八頁)
- 二〇〇七年 世界的公共圏のために 金沢法学四九巻二号(四九—六一頁)
- 二〇〇七年 ニューヨーク州立バッファロー校における国際教育 文部科学省「大学教育の国際化推進プログラム(海外先進教育実践支援)平成18年度採択事業報告会」での報告書『国際人養成のための新教育プログラム』(九—二六頁)
- 二〇〇八年 インターネットと民主主義の実質化 — 日米選挙サイト比較から — 金沢法学五

一卷一号(五七―八八頁)

二〇〇九年

Internet and Democracy - Election Sites. In : 18th AMIC Annual Conference, Media, Democracy and Governance : Emerging Paradigms in a Digital Age, in New Delhi India, 13-16 July 2009, p.37 and a full paper (23 pages) is also to be read in the CD of AMIC Conference

二〇一〇年

Internet and Democracy - Materialization of Democracy 金沢法学五二卷一―二(四頁)

二〇一一年

Do so-called Dewesternized Asian Media Studies as a Discipline Serve Authoritarian Countries as a Tool to Control own People and Cause more Conflicts in the International Communication? 金沢法学五三卷一―二(一―一七頁)

学会・シンポジウム報告

一九八三年

生徒ビューヒナーの作品と後期作品との関係 日本独文学会春季研究発表会(東京)

一九八四年

西ドイツにおける文学産業 日本独文学会秋季研究発表会(金沢)

一九八八年

Über den Unterschied des Sprachverhaltens zwischen Japan und Deutschland ドイツ学术交流会(DAAD)ドイツ人ドイツ語教員会議(熊本)

一九九〇年

Sprachliches Verhalten in Japan und Deutschland - seine Bedeutung für den Deutschunterricht 日中ドイツ語・ドイツ文学者大会シンポジウム(三月二二日―二八日)(北京)

- 一九九一年
Interkultureller Deutschunterricht - ein Versuch zum regionalen Lehrwerk' ドイツにおける
東アジアのドイツ語・ドイツ文学者のためのー 中国、韓国、日本ー 東アジアの
観点から見たドイツ文学と言語のシンポジウム(八月二十六日ー三〇日)。ドイツ学術
交流会とフンボルト基金との共催(ベルリン日独センター)
- 一九九三年
Interkultureller Deutschunterricht im Hinblick auf Sprachverhalten ドイツ学術交流会比
較言語行動専門セミナー(三月三〇日ー四月二日)(蓼科)
- 一九九三年
比較文化論的ドイツ語教育の試み 日本独文学会秋季研究発表会シンポジウム(一〇
月五日)(富山)
- 一九九四年
工芸品における美の意匠とヨーロッパへの影響 『美のコンセプトとヨーロッパへの
影響』というシンポジウムでの発表(エコー・ハウス、デュッセルドルフ)
- 一九九六年
Deutschunterricht und Leistungsmessung 日本独文学会第三回ドイツ語教育法ゼミナ
ー(三月二〇日ー二四日)(蓼科) 発表は三月二二日
- 一九九七年
大学改革はドイツ語教育改革のチャンスである 『大学改革の進行とドイツ語教育の
諸問題』シンポジウム(六月七日) 日本独文学会春季研究発表会(東京)
- 一九九九年
マス・メディアと国家フレーム、駐ユーゴ中国大使館 “誤爆” を事例として 日本マ
ス・コミュニケーション学会秋季研究発表会(東京)(一一月六日)
- 二〇〇〇年
Japan in der Krise? - Fremdbilder und Selbstwahrnehmung ドイツ連邦共和国レーゲン
スブルク大学で行われる、日本国皇太子殿下とドイツ連邦共和国大統領が後援する国
際輪番講演 『Ristora Japans Weg in die globale Gesellschaft (リストラー ー 日本

グローバル社会への道』での最終回の講演(二月一六日)この最終回の講演は、二〇〇〇年三月一〇日にバイエルン・テレビ局を通じてドイツ連邦共和国で放送された

二〇〇〇年 Bestandaufnahme Japan in den deutschen Medien : Japanisches-Deutsches Zentrum Berlin

(IDZB)の Presse- und Informationsamt der Bundesregierung (BPA)共催 Workshop Deutschland und Japan in den Medien des anderen Landes, Freundschaftliche Differenzen, Workshop zu "Deutschland und Japan in den Medien des anderen Landes" 23-24. November 2000 十一月二十四日に発表

二〇〇一年 Kanazawa's Sustainability as a Traditional Castle City, The 3rd International Conference on Culture in Sustainability of Cities, Cheongju, Korea, May 25-26, 2001

二〇〇一年 行政とマス・メディアと市民 政治コミュニケーション 狂牛病をケース・スタディとして 立命館大学 六月二十九日

二〇〇二年 報道の責任と公共性 ― ドイツ報道評議会と日本の「社内」、苦情処理委員会 日本ドイツ学会 六月一五日早稲田大学

二〇〇二年 Das japanische Weltbild und die modernen Massenmedien ドイツ連邦共和国・シーゲン大学での講演 四月二十八日

二〇〇四年 Development of the Self and the Others in Japanese and German Society, 8th Meeting of the German-Japanese Society for Social Science, Culture and Development in Japan and Germany, July 23-25, 2004, Department of Psychology, University of Hildesheim, Germany

二〇〇六年 Understanding of Information in Socio-cultural Differences, Mechanism of Misunderstanding

- and Understanding | In : "Socio-Cultural Transformation in the 21st Century? Risks and Challenges of Social Changes" Program of the 9th Meeting of the German-Japanese Society for Social Sciences 2006 in Kanazawa/Japan, October 12-15, 2006
- 二〇〇六年
Is Clash or Civilizations a Real Problem or an Imaginary One? Cultural Impact on Human Interaction : Clash or Challenge, November 27-29, 2006, Nizhny Novgorod, Russia
- 二〇〇八年
インターネットと民主主義 — 民主主義の実質化 日本マス・コミュニケーション学会発表 (六月七日名古屋)
- 二〇〇八年
Internet and Democracy - Realization of Democracy, 10. Meeting of German-Japanese Society for Social Sciences 2008 (第一〇回独日社会科学学会発表) (Osnabruck/Germany August 28.8.-31.2008)
- 二〇〇九年
Internet and Democracy — Materialization of Democracy, 18th AMIC Annual conference, 13-16 July 2009, New Delhi, India
- 二〇一〇年
Do so-called De-westernized Asian Media Studies as a Discipline Serve Authoritarian Countries as a Tool to Control own People and Cause more Conflicts in the International Communication? Annual Conference, 21-23 June 2010, at Suntec City, Singapore

ドイツ語教材

- 一九八一年 西ドイツの学生群像、楠根重和・生田真人共著 郁文堂
- 一九八九年 Japanbild der Deutschen 楠根重和・中埜芳之共著 三修社

一九九七年 大学生のためのコミュニケーション・ドイツ語 白水社

翻 訳

一九七八年 NHKFM海外ラジオドラマ特集『事故の原因』昭和五三年三月一〇日放送

一九七九年 NHKFM海外ラジオドラマ特集ゲオルク・タブオリ作『荒野の決闘』昭和五四年三月三日放送

月三日放送

一九八一年 NHKFM海外ラジオドラマ特集マルクス・ミツヒエル作『いつも微笑むだけ』昭和五六年三月一四日放送

五六年三月一四日放送

一九八一年 NHKFM海外ラジオドラマ特集ハンネリース・タッサウ作『伝記の続き』昭和五六年三月二八日放送

一九八五年 NHKFM海外ラジオドラマ特集カルロス・セルダ、オマール・サアーベジラ・サントス作『チュエリッポと石ころと短剣』昭和六〇年二月一六日放送

テス作『チュエリッポと石ころと短剣』昭和六〇年二月一六日放送

一九八六年 NHKFM海外ラジオドラマ特集フリッツ・ミケシュ、ローナルト・シュテツケル作『スコット・希望への旅』昭和六一年二月一日放送

『スコット・希望への旅』昭和六一年二月一日放送

二〇〇一年 Peter Gottwald 「国際的なメディアによる不法行為にさいしての権利保護」遠藤功・楠根重和共訳金沢法学四三卷三号（一一一―一四頁）

楠根重和共訳金沢法学四三卷三号（一一一―一四頁）

二〇〇一年 Clemens Kaufmann : Die politische Logik des Ortes 「場の政治的理論」金沢法学四四卷

二号（三五―八一頁）

二〇〇二年 ハラルド・マイヤー (Harald Meyer) 「OAGのパイオニア、ヨハネス・ユストウス・

ラインの一八七四年から一八七五年にかけての日本探検」第二〇回ライン祭り、記念
冊子復刻版（第一一号―第一九号）石川県白峰村ライン顕彰会（五一―五六頁）